

令和8年度 アプリを活用した運動・外出促進事業に係るアプリ登録会企画運營業務委託  
事業者選定会議における選定結果について

1 案件名称

令和8年度 アプリを活用した運動・外出促進事業に係るアプリ登録会企画運營業務委託

2 選定した優先交渉権者

株式会社NTTドコモ 関西支社

3 契約期間

契約締結日から令和9年3月31日（水）まで

4 募集及び審査の経過

(1) 経過

- ・公募開始：令和8年4月13日（月）
- ・質問受付締切：令和8年4月27日（月）
- ・質問に対する回答：令和8年5月8日（金）
- ・参加申請関係書類の提出期限：令和8年5月13日（水）
- ・参加資格決定通知：令和8年5月15日（金）
- ・第2回選定会議（プレゼンテーション審査）：令和8年5月28日（木）

(2) 選定会議の開催日

- 第1回：令和8年4月7日（火）
- 第2回：令和8年5月28日（木）

5 選定委員（敬称略・50音順）

氏名	所属等
上村 一貴	大阪公立大学医学部リハビリテーション学科等 准教授
高井 逸史	大阪経済大学人間科学部 教授
村上 敬造	大阪芸術大学芸術学部 教授

6 プレゼンテーション審査

提出期限までに提出された参加申請関係書類により、参加資格の審査を実施した後、参加資格決定通知を送付した4事業者について、選定委員3名が、提出された企画提案書に係るプレゼンテーションの審査を行った（各選定委員100点・合計300点満点）。

## (1) 評価項目（委員1名あたり）

評価項目		評価の視点	配点
1	業務遂行にあたっての積極性、意欲、姿勢	・参加理由が前向きで、困難な課題に積極的に挑戦（チャレンジ）する意欲があるか。	5
2	業務目的、業務内容、設定課題の理解度	・事業の目的・内容・対象者及び本市が設定している課題を正確に理解しているか。	10
3	業務遂行にあたっての計画性・実施手順の妥当性	・方針や計画が事業期間内に遂行できるものになっているか。 ・効率的に事業を遂行するよう手順が妥当なものとなっており、その根拠が具体的に示されているか。	15
4	業務の実施体制（人員・個人情報保護・セキュリティ対策）	・個人情報保護やセキュリティ対策（事故等の備え）に留意しつつ、業務遂行上必要な人員が確保され、具体的に示されているか。	10
5	設定課題に対する解決手法（実現性・創造性・有効性）	・登録数の増効果が認められるか。 ・内容・手法が科学的に正確・妥当であるか。 ・創造的・魅力的な内容であるか。 ・後継アプリを見据えているか。 ・広告効果が認められるか。 ・集客に有効であるか。 ・登録会の実施状況、運営上課題を的確に把握できるか。 ・今後改善策の提案方法も考えられているか。	40
6	業務実績	・本事業の各業務と同程度の内容の業務実績があり、本事業の遂行能力が認められるか。	10
7	費用積算根拠の妥当性	・費用の根拠が具体的に示され、提案内容と費用の関係性が明確となっているか。	10
計			100

## (2) 審査を行った事業者（50音順）全4事業者

- ・株式会社エージェント
- ・株式会社NTTドコモ 関西支社
- ・ソフトバンク株式会社
- ・日本電気株式会社 関西支社

## (3) 審査の結果（委員3名の評価点合計が高い順）

評価項目	配点	A社	B社	C社	D社
業務遂行にあたっての積極性、意欲、姿勢	15	12	10	11	12

業務目的、業務内容、設定課題の理解度	30	23	20	18	19
業務遂行にあたっての計画性・実施手順の妥当性	45	30	29	29	30
業務の実施体制（人員・個人情報保護・セキュリティ対策）	30	19	19	19	20
設定課題に対する解決手法（実現性・創造性・有効性）	120	83	73	71	68
業務実績	30	22	21	23	21
費用積算根拠の妥当性	30	23	21	21	22
計	300	212	193	192	192

#### (4) 付帯意見

- ・歩くことの量だけではなく、質を改善する機会を設ける等、運動が継続できる仕組みづくりや、90 日以上 of 長期間の追跡モニタリング分析を行うなど、より良いものとなるよう検討されたい。
- ・学生を活用する学校連携や、同年代のシルバー人材センター等を活用するなどの工夫により、高齢者のアプリサポート等が事業終了後も自助共助として残るような仕組みを検討されたい。
- ・具体的な内容については、発注者が実施するその他事業や後継アプリの状況等を踏まえて検討されたい。